

## Junko Hagiwara's セビージャ・ダイアリー

### Vol.2 セビージャという街



セビージャが好きか?この質問に答えるのは難しい。嫌いな所はいっぱいある。人は謝ることを知らない。口先ばかりで表面的。東洋人をバカにするし、スーパーの店員は客を客とも思わない。セビージャ外国人課の職員の怠慢に至っては天罰が下るに値する。この7年間、本気で決闘を申し込んでやる〜!と思ったことが幾度あっただろうか。(申し込んでないけど…)私の周りの留学生は、フラメンコが好きでもセビージャの人や生活に耐えられなくて、憤って帰っていく。3ヶ月が限度という人も多い…異論はない。

でもそれでも私がセビージャにいるのはなぜだろう?もちろんフラメンコを学んでいるからなのだけれど、マドリッドやヘレスに留学する人もいるし、日本でも、もしくはYouTubeでもそれは学べてしまう。でも私は、まだここにいる。

ユーロ導入後物価が上がって、街の様相も変わってきた。でもセビージャには「何か」がある。橋を渡りただひたすら街を歩き、今日何を食べようか考える。人と出会い、面識もないのになぜかおしゃべりする。笑い、空を見上げ、道に放置されている犬の落し物に気をつける。家とスタジオの往復の毎日では感じられない「何か」がそこにはある。それは何なのだろう?と考える前に、私の体中の細胞が喜んでいて、それを欲している。吸収している。私はセビージャに包まれて生きている。

セビージャはセビージャなのだ。いつの日か本当に別れを告げなければならぬ時、私は自分の腕をもぎとられるような痛みを覚えるだろう。

でもセビージャは存在し続ける。ここにある。

2009年5月

※2009年7・8月少人数制クルーシージョ開講予定。  
詳細はPlaza de farruca(ライブ情報ページ)もしくは下記サイトにて。  
萩原淳子公式HP「LA YUNKO」 <http://www.layunko-flamenco.com/JA/>